

様式3 日向市第三セクター等経営状況及び点検評価結果報告書

作成基準日	令和3年4月1日	作成担当部署	観光交流課	電話番号	52-2111	代表者	代表取締役社長 十屋 幸平
名称等	名称	株式会社 日向サンパーク		所在地	日向市大字幸脇303番地5		
	設立年月日	平成14年1月8日		電話番号	TEL: 0982-56-3800 FAX: 0982-56-3805	ホームページアドレス	https://hyugasunpark.wixsite.com/sunpark/blank-6
資本金	50,000千円	設置目的	日向サンパーク温泉等の経営・管理・運営	事業(業務)内容	温泉浴場施設(R2.9.30まで)・道の駅・オートキャンプ場・体育施設の経営・管理・運営		
役員数及び給与の状況	役員		役員報酬総額	有給職員(臨時・パート職員は除く)		有給職員の	職員給与総額 (千円)R2年度
	総数	うち市出向者・退職者数	(千円)R元年度	総数	うち市出向者・退職者数	平均年齢	
	7	2	0	4	0	50	
第三セクターへの関与の状況	(1)公的支援(財政的関与)						
	項目	金額(千円)			備考(目的・内容・算出根拠等)		
		H30	R元	R2			
	① 運営補助金	23,729	3,394	71,093	道の駅「日向」管理委託料、日向サンパーク温泉経営安定化支援事業補助金、指定管理者経営継続助成金		
	② 指定管理料	11,408	34,599	19,276	日向サンパーク温泉(R2.9.30まで)、オートキャンプ場及び体育施設に係る管理料		
	③ 貸付金	25,000	25,000	83,549	R1までは短期貸付、R2は短期貸付と長期貸付		
	④ その他(損失補償金)			18,391			
	合計	60,137	62,993	192,309			
	・短期貸付金残高						
	・長期貸付金残高			58,549	R3～10年で返済		
合計			58,549				
(2)人的支援(人的関与)							出資割合(92%)から、市長が代表取締役社長に就任している。副市長が取締役に就任している。
(3)その他の取組(その他の課題)							・指導・監督の強化 第三セクターに関する指針策定 ・情報の公開 日向サンパーク温泉改革プランに基づく点検・評価結果の公表
法人自らによる経営健全化のための具体的な取組	経営課題	経営健全化策(具体的取組)		取組結果		点検・評価	
	経営形態見直し策	施設別経営状況の明確化による経営改善対策。施設別に決算書を作成、施設別の収支を明確にする。		平成21年度から部門ごとの決算書を作成するとともに、平成23年度からは月毎の決算書も部門ごとに作成しています。		□充分であった ■ある程度あった □不十分であった 部門ごとに収支を管理し、毎月の決算書を積み上げて分析することで、現状と課題を客観的に分析し、今後の経営戦略の確立につなげるため、引き続き実施すべきであると考えます。	
	経営体制強化策	会社の経営状況を社内で共有することにより、経営参画意識の向上に努める。		9月末の温泉館休館までは管理職及び主任職を中心に月例会議を通じて、経営状況等の情報を共有化し、経営参画意識向上に努めました。休館後は各施設の長、主任職に朝礼やミーティングを通じて経営状況の認識共有に努めました。		□充分であった ■ある程度あった □不十分であった コロナ禍による非常に厳しい状況下においても、経営状況の認識共有に努めた点は評価できます。 会社を取りまく社会環境の状況変化に素早く対応するためにも、職員一人ひとりの経営参画意識の向上機会として継続していただくとともに、各種取組に対する内部評価等による改善策の検討にも取り組んでいただきたいと思います。	
	収入増加確保対策	詳細な事業計画・収支計画を検討した上で、団体客の誘致や、企業の福利厚生施設としての利用、各種イベントの実施等で費用対効果の高い集客増を図り、収益増加・確保に繋げる。		コロナ禍により年度当初から温泉館を中心に休業が断続的に続き団体客、企業の利用がありませんでした。出荷者協議会の大規模イベントも軒並み中止となり集客増に繋げる事ができませんでした。クリスマス、初商い、節分、18周年記念等計7回のプレゼント企画は経費ゼロで実施し生産者の収入向上と収益に繋がりました。ふるさと納税も減少はしましたが依然として多くの寄付を頂き収益に繋がっています。物産館とキャンプ場のバーベキューセット販売も予約キャンセルが多く減少しましたが収益には繋がっていると思われま。		□充分であった ■ある程度あった □不十分であった コロナ禍による厳しい経営環境の中、業績の悪化はやむを得ないものと考えます。そのような中、経費ゼロの7回のプレゼント企画など、利用者のニーズにきめ細かく対応した取組の成果として、物産館は最終黒字を確保できたことは評価できます。 今後は、新たな大型遊具やドッグランも整備されることから、ウィズコロナ・アフターコロナに対応した観光誘客や企画立案などの事業展開に努めていただきたいと思います。	
	オリジナル商品・メニュー等の開発	(株)日向サンパーク温泉オリジナル商品やメニュー、企画の開発研究と販売に努める。		温泉館レストランでは、四季に合わせた地元の食材を用いた限定メニューとしてお客様に喜ばれました。物産館では、長年販売してきた「へべす大根」が終売となった為に、新たに他の業者と一から企画した「へべす大根」を作り販売しております。軽食コーナーではへべすのシーズン中にへべすうどんとソバを新たに新メニューに追加しております。その他にも宮崎県道の駅長会のオリジナル商品も積極的に開発販売しております。		□充分であった ■ある程度あった □不十分であった 収益の増を図るために、継続してオリジナル商品・メニューの開発に取り組んでいる点が評価できます。 地域性を生かした独自の商品・軽食メニューなどの開発に取り組むことで、新たな収益や顧客の増加につながる事が期待されるため、今後はデータ分析を行った上での、ターゲットを絞った商品等の開発にも取り組んでいただきたいと思います。	
情報発信	ホームページの更新、リーフレットのリニューアル		ホームページは定期的に更新していますが、リーフレットは、温泉館の休館に伴い現在停止中です。物産館については会員の新品や季節の農水産物、出荷者協議会のイベント情報など手軽に投稿できるFacebookで情報を発信しております。日向市の広報紙「広報ひゅうが」にはその月のお勧め商品情報や各施設の営業時間等の基本情報を毎月掲載して頂いております。		□充分であった ■ある程度あった □不十分であった 温泉館休館後の情報発信力が低下しており、集客を図るためのホームページやSNSなどを活用した情報発信が急務であると思われま。 温泉館休館の負のイメージを払拭させるためにも、新たなサイトの構築や観光協会等と連携した情報発信などの研究を行っていただきたいと思います。		

法人自らによる経営健全化のための具体的な取組	利用者アンケートの実施	アンケート調査により利用者のニーズや施設や経営に対する改善点を抽出する。	温泉館では、入館者に対しアンケート調査を実施し、市内市外や年齢、性別、ご意見ご要望などデータとして吸い上げ業務改善や施設改善を行いながら施設運営にあたってきました。キャンプ場のコテージにはお客様の声を吸い上げ易くするためにノートを設置し自由にご意見ご希望を書けるようにし施設及びサービス改善に努めております。	<input type="checkbox"/> 充分であった <input checked="" type="checkbox"/> ある程度あった <input type="checkbox"/> 不十分であった 利用者から寄せられた声を具体的にどのよう に反映させ、その結果どうなったかなど発信する ことも必要だと思われま す。 また、大型遊具の設置も予定されているため、 体育施設や道の駅等でのアンケート調査、道の 駅出荷者への意向調査のほか、SNSを活用した ニーズの把握などにも取り組んでいただきた いと思 います。
	社員の資質向上	各社員の能力を向上させることにより、営業経費の低コスト化、短時間での対応、高品質なサービスの提供を目指す。	コロナ禍により外部の勉強会、研修会が軒並み中止延期になる中、社内の業務の見直しや配置転換、システムの改善を行い営業経費の低減を行いました。	<input type="checkbox"/> 充分であった <input checked="" type="checkbox"/> ある程度あった <input type="checkbox"/> 不十分であった 業務の見直し等により、経費削減につなげたこ とは評価できます。コロナ禍による温泉館休館な ど経営転換期にあつて、職員の人材育成・意識 改革はより一層重要となると思われることから、 継続した研修により社員の資質向上に取り組ん でいただきた いと思 います。
	契約の見直し	業務委託や物品購入については、業務内容や契約内容の見直しを随時行い、入札制度を用いる等、経費の削減に努める。	温泉館の休館に伴い、業務委託の契約内容を見直して再契約を行い経費の削減に努めました。また大多数の物件のリース契約の解約も行いました。	<input type="checkbox"/> 充分であった <input checked="" type="checkbox"/> ある程度あった <input type="checkbox"/> 不十分であった 業務委託等の見直しは、温泉館休館に伴う適 切な対応であり、無駄なコスト流出を抑えた点 が評価 できます。 今後も、業務の効率化を考慮した管理運営が 重要であるため、引き続き経費削減に努めて いた だきた いと思 います。
	物件費の節減	省エネ対策(節電)・水道使用料(節水)を実践し、経費の軽減を図るほか、全ての経費について節約に努める。	赤字部門である温泉館の経営継続を断念したことにより経費の削減ができました。コロナ禍により物産館の閉店時間を早め、光熱費の節約に努めました。	<input checked="" type="checkbox"/> 充分であった <input type="checkbox"/> ある程度あった <input type="checkbox"/> 不十分であった 温泉館休館に伴う適切な対応やコロナ禍にお ける臨機応変な対応など、無駄なコスト流出を抑 えた点 が評価 できます。 今後も、業務の効率化を考慮した管理運営を 第一に、引き続き経費削減に努めていただ きた いと思 います。
	人件費の抑制	各部署の職員体制並びに勤務体制等を検討し、効率的な人員配置と経費抑制に努める。	温泉館休館に伴い、従業員23名を解雇しました。本部機能を維持するため事務所を移転し施設長、経理主任の2名体制としました。物産館の館長を施設長兼任にすることにより館長分の人件費を削減しました。温泉館の退職者を物産館に2名採用することにより業務の効率化を図りました。コロナ禍で物産館の閉店時間を早めることで残業手当を削減しました。	<input checked="" type="checkbox"/> 充分であった <input type="checkbox"/> ある程度あった <input type="checkbox"/> 不十分であった 温泉館が休館されたことにより、従業員を解雇 せざるを得なかったことは、苦渋の人員整理で あり、大変辛い思いをされたと感じています。 しかし、不採算部門の休止により、会社の運営 自体は改善が期待されることですので、今 後は他の施設の運営強化等に取り組み、利用 者へのサービス向上に努めていただき、コロナ 収束後の事業好転に期待したいと思 います。
市による財政的なリスク対処のための具体的な取組	アンケートの実施	サンパークの改善事項を把握し、信頼される会社経営に向けて取り組む。	これまでは、温泉館を主としたアンケート調査を実施していたことから、温泉館の休館に伴い、不足しているキャンプ場等のアンケート調査を充実するよう指示するとともに、改善事項の把握に努めました。令和2年度繰越予算で整備予定の大型遊具等については、公募型プロポーザル方式により提案された完成予想図をもとに日向サンパークを訪れる方へのアンケート調査を実施することとしました。	<input type="checkbox"/> 充分であった <input checked="" type="checkbox"/> ある程度あった <input type="checkbox"/> 不十分であった 温泉館が休館する事態となりましたが、前向き に他施設の利用者ニーズの把握に努めたことは 評価 できます。 コロナ禍を背景として、ソロキャンプをはじめ としたさまざまな形でキャンプを楽しむ人が増 えているなど、観光を取り巻く社会情勢が大きく 変わ っていく中で、ニーズの把握は集客率の向上 が期待されるため、アンケート調査だけではなく、 他のキャンプ場の取組等も参考にし、改善を 図 って いた だ きた いと思 います。
	効率的な経営環境の整備	利用者ニーズや経営体制等を考慮しながら、効率的・効果的な営業形態がとりやすい環境を整備するため、条例等の改正や各種計画への位置づけを行う。	これまでの温泉館の赤字経営により(株)日向サンパーク全体の累積赤字が1億円を超え、コロナ禍の影響もあり、今後更なる財務状況の悪化が予想されることから、市としての財政負担等も考慮し温泉館の経営継続を断念し、(株)日向サンパークの安定経営に資することとしました。休館した温泉館については、民間譲渡により運営再開を目指すとともに、大型遊具やドッグラン等の整備を繰越事業により実施することで誘客を図ります。	<input checked="" type="checkbox"/> 充分であった <input type="checkbox"/> ある程度あった <input type="checkbox"/> 不十分であった コロナ禍による利用者の減少のため温泉館が 休館となったことは、会社存続を図る上で、やむ を得ない判断であったと考えます。 大型遊具やドッグラン等の整備は、集客の点で 大きなメリットがあると思われることから、新生 サン パークのスタートとなるために、ソフト・ハード 問わず様々なアイデアを施設内に取り入れる取 組に期待 します。
	修繕計画	施設の修繕計画を策定するとともに、予算の確保に努め、定期的に点検しながら計画に沿った更新に取り組む。	温泉館の休館に伴い、温泉施設の大規模改修が実施できなかったことから、キャンプ場や体育施設の修繕等を可能な範囲で実施しました。 工事・修繕費 807千円	<input checked="" type="checkbox"/> 充分であった <input type="checkbox"/> ある程度あった <input type="checkbox"/> 不十分であった 今後、大型遊具やドッグランの整備によ って、体育施設やキャンプ施設の利用者増加が 期待されるため、既存施設についても定期点検 を行いながら、安全安心に利用出来る環境を 維持して いた だ きた いと思 います。また、計画的な維持補 修や利用者のニーズに即した施設の維持管理 にも努 めて いた だ きた いと思 います。

<p>ス市 クに 体対よ 的処る な の財取 た政組 めめ 的のな 具リ</p>	<p>適正な契約</p>	<p>指定管理者制度による協定と業務委託契約を精査し、適正な契約内容と経費を確立し、管理責任の明確化を図る。</p>	<p>コロナ禍に伴う料金収入減少分に対し、「損失補償金」及び「指定管理者経営継続助成金」を交付しました。また、温泉館の休館に伴い発生する経費並びに今後の経営安定及び関連施設の円滑かつ持続的な運営経費として「日向サンパーク温泉経営安定化支援事業補助金」を交付しました。温泉館が指定管理施設から除外されたことから、令和3年度からの指定管理料の見直しを実施し適正な契約内容としました。</p>	<p>■充分であった □ある程度あった □不十分であった 施設管理者である市と指定管理者による協議を深め、厳しい事態に対応したことは評価できません。 今後も、コロナ禍の中で観光を取りまく環境を常に把握し、施設の運営方法等について市側と適切な協議を行う必要があると思います。</p>																																																																																										
<p>財務状況</p>	<p>貸借対照表</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="3">金額(千円)</th> </tr> <tr> <th>H30</th> <th>R元</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>資産合計</td> <td>11,312</td> <td>21,041</td> <td>27,899</td> </tr> <tr> <td>負債合計</td> <td>68,159</td> <td>87,598</td> <td>73,435</td> </tr> <tr> <td>資本合計</td> <td>△ 56,846</td> <td>△66,557</td> <td>△45,536</td> </tr> <tr> <td>累積欠損金</td> <td>△106,846</td> <td>△116,557</td> <td>△95,536</td> </tr> </tbody> </table>	項目	金額(千円)			H30	R元	R2	資産合計	11,312	21,041	27,899	負債合計	68,159	87,598	73,435	資本合計	△ 56,846	△66,557	△45,536	累積欠損金	△106,846	△116,557	△95,536	<p>損益計算書 ・ うち市からの補助金・委託料 ・ 正味財産増減計算書</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="3">金額(千円)</th> </tr> <tr> <th>H30</th> <th>R元</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収益</td> <td>364,248</td> <td>384,317</td> <td>286,320</td> </tr> <tr> <td>経常費用</td> <td>377,194</td> <td>393,819</td> <td>260,144</td> </tr> <tr> <td>経常利益(損失)</td> <td>△12,946</td> <td>△9,502</td> <td>26,176</td> </tr> <tr> <td>当期利益(損失)</td> <td>△13,155</td> <td>△9,710</td> <td>21,021</td> </tr> </tbody> </table>	項目	金額(千円)			H30	R元	R2	経常収益	364,248	384,317	286,320	経常費用	377,194	393,819	260,144	経常利益(損失)	△12,946	△9,502	26,176	当期利益(損失)	△13,155	△9,710	21,021																																												
項目	金額(千円)																																																																																													
	H30	R元	R2																																																																																											
資産合計	11,312	21,041	27,899																																																																																											
負債合計	68,159	87,598	73,435																																																																																											
資本合計	△ 56,846	△66,557	△45,536																																																																																											
累積欠損金	△106,846	△116,557	△95,536																																																																																											
項目	金額(千円)																																																																																													
	H30	R元	R2																																																																																											
経常収益	364,248	384,317	286,320																																																																																											
経常費用	377,194	393,819	260,144																																																																																											
経常利益(損失)	△12,946	△9,502	26,176																																																																																											
当期利益(損失)	△13,155	△9,710	21,021																																																																																											
<p>指標関係</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">成果指標(数値目標)</th> <th>H30実績</th> <th>R元実績</th> <th>R2目標</th> <th>R2実績</th> <th>R3目標</th> <th>R4目標</th> <th>R5目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">財務指標</td> <td>流動比率(%)</td> <td>23.97</td> <td>25.65</td> <td>90以上</td> <td>150.62</td> <td>100以上</td> <td>100以上</td> <td>100以上</td> </tr> <tr> <td>損失補償</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>短期貸付金</td> <td>25,000</td> <td>25,000</td> <td>25,000</td> <td>25,000</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>経常利益</td> <td>△12,946</td> <td>△9,502</td> <td>13,899</td> <td>26,176</td> <td>13,061</td> <td>14,325</td> <td>15,589</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">活動指標</td> <td>利用者数(人)</td> <td>397,956</td> <td>374,389(221,320)</td> <td>220,000</td> <td>161,885</td> <td>230,000</td> <td>231,000</td> <td>232,000</td> </tr> <tr> <td>温泉館客単価(円/人)</td> <td>678</td> <td>702</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>物産館売上額(千円)</td> <td>202,173</td> <td>224,943</td> <td>209,300</td> <td>162,778</td> <td>208,000</td> <td>212,200</td> <td>216,300</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">オートキャンプ場稼働率(%)</td> <td>コテージ</td> <td>24.6</td> <td>22.5</td> <td>31.5</td> <td>13.8</td> <td>32.3</td> <td>33.2</td> <td>34.0</td> </tr> <tr> <td>ログハウス</td> <td>16.4</td> <td>14.0</td> <td>18.1</td> <td>10.2</td> <td>18.9</td> <td>19.7</td> <td>20.5</td> </tr> <tr> <td></td> <td>テントサイト</td> <td>7.5</td> <td>9.3</td> <td>8.0</td> <td>8.6</td> <td>8.2</td> <td>8.4</td> <td>8.5</td> </tr> </tbody> </table>	成果指標(数値目標)		H30実績	R元実績	R2目標	R2実績	R3目標	R4目標	R5目標	財務指標	流動比率(%)	23.97	25.65	90以上	150.62	100以上	100以上	100以上	損失補償	0	0	0	0	0	0	0	短期貸付金	25,000	25,000	25,000	25,000	0	0	0	経常利益	△12,946	△9,502	13,899	26,176	13,061	14,325	15,589	活動指標	利用者数(人)	397,956	374,389(221,320)	220,000	161,885	230,000	231,000	232,000	温泉館客単価(円/人)	678	702	-	-	-	-	-	物産館売上額(千円)	202,173	224,943	209,300	162,778	208,000	212,200	216,300	オートキャンプ場稼働率(%)	コテージ	24.6	22.5	31.5	13.8	32.3	33.2	34.0	ログハウス	16.4	14.0	18.1	10.2	18.9	19.7	20.5		テントサイト	7.5	9.3	8.0	8.6	8.2	8.4	8.5
成果指標(数値目標)		H30実績	R元実績	R2目標	R2実績	R3目標	R4目標	R5目標																																																																																						
財務指標	流動比率(%)	23.97	25.65	90以上	150.62	100以上	100以上	100以上																																																																																						
	損失補償	0	0	0	0	0	0	0																																																																																						
	短期貸付金	25,000	25,000	25,000	25,000	0	0	0																																																																																						
	経常利益	△12,946	△9,502	13,899	26,176	13,061	14,325	15,589																																																																																						
活動指標	利用者数(人)	397,956	374,389(221,320)	220,000	161,885	230,000	231,000	232,000																																																																																						
	温泉館客単価(円/人)	678	702	-	-	-	-	-																																																																																						
	物産館売上額(千円)	202,173	224,943	209,300	162,778	208,000	212,200	216,300																																																																																						
	オートキャンプ場稼働率(%)	コテージ	24.6	22.5	31.5	13.8	32.3	33.2	34.0																																																																																					
		ログハウス	16.4	14.0	18.1	10.2	18.9	19.7	20.5																																																																																					
	テントサイト	7.5	9.3	8.0	8.6	8.2	8.4	8.5																																																																																						
<p>財務・活動・成果 指標取組結果</p>	<p>利用者数は、温泉館休館やコロナ禍の影響もあり、令和元年度に比べ温泉館が120,015人の減、物産館も41,060人の減となりました。オートキャンプ場の利用者は2,711人の減、体育施設の利用者は30人の減となりました。全体としては目標数を58,115人下回りました。全体の財務状況としましては、コロナ禍による各施設の休業などで売上高で前年比△178,012千円となり、営業利益につきましても温泉館休館に伴う費用などで前年比△44,430千円となりました。しかしながら市からの経営安定化支援事業補助金や損失補償金、経営安定化貸付金等の財政支援により当期利益が21,021千円となり負債額が18.0%減少しました。</p>																																																																																													
<p>第三セクター経営検討委員会 点検評価 総括</p>	<p>慢性的な赤字経営の中、コロナ禍の影響により非常に厳しい事業環境となり、温泉館の休館など大きな転換期を迎えた事業年度となりました。そのような中、物産館が営業黒字となっている点は評価できます。 長年に渡り不採算部門であった温泉館の休館により、会社自体は経営健全化が期待されますが、財政状態は依然として厳しい状況ですので、引き続き経営改善に取り組んでください。 今後は、新たな大型遊具やドッグランも整備されることから、新たな魅力の情報発信を行いながら、サンパークに来ないと手に入らないようなサービスやお土産等の物品を確立し、日向市の観光拠点として魅力ある施設としての再出発のための挑戦・努力に期待します。</p>																																																																																													
<p>第三セクター経営検討委員会による 経営検討結果</p>	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒ A 経営努力を行いつつ事業は継続 ⇒ B 事業継続は可能と判断されるが、早急な経営改善策の取組強化、意識改革が必要 ⇒ C 事業内容の大幅な見直し等による抜本的な経営改善が必要 ⇒ D 深刻な経営難の状況にあり、経営の観点からは、事業の存廃も含めた検討が必要 																																																																																													
<p>市</p>	<p>イ</p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒ ア 経営努力を行いつつ現状のまま存続 ⇒ イ 事業内容等の見直しを行った上で存続 ⇒ ウ 再建を行いつつ存続 ⇒ エ 廃止、または完全民営化、もしくは事業の民間譲渡 ⇒ オ その他() 																																																																																													
<p>第三セクター経営検討委員会の点検・評価結果を踏まえた意見</p>	<p>今後の方向性</p> <p>今後の取組について</p> <p>これまでの赤字経営に加え、コロナ禍の影響も重なり、会社の存続やこれまで以上の市の財政負担等を考慮し、苦渋の決断ではありましたが、令和2年9月末をもって温泉館を休館し、単年度黒字化を見込んでいましたが、コロナ禍が長期化しており厳しい経営状況が続くと予想されます。 このようななか、令和3年度には、市民からの要望もあり、大型複合遊具や県内ではあまり設置例がない3歳未満児用の遊具及び障がい者に配慮したユニバーサル遊具、さらには、健康器具を設置することで、小さな子どもから高齢者まで、誰もが利用できる施設整備を行い、ドッグラン整備と併せ、誘客を図ることにしています。 温泉館につきましては、日向サンパークの誘客に必要な施設であり、民間譲渡に向けて公募を行いました。様々な課題もあり応募者がいなかったことから、早期再開を目指し、課題解決に向けて取り組みます。</p> <p>温泉館休館により温泉館の指定管理が解除され、オートキャンプ場及び体育施設が指定管理業務となり自主事業で道の駅日向物産館の管理運営を行っていきます。このことにより(株)日向サンパークの経営状況は改善し単年度黒字も見込まれています。しかしながら、コロナ禍の影響でしばらくは厳しい経営状況が続くと考えられ、その間の取り組みが大事だと思われ。感染状況が改善しアフターコロナの状況になった時に各施設とも集客につながるよう、この時代に合わせたホームページやSNSを活用したPR活動を行って参りたいと考えております。 道の駅日向物産館については、地域性を生かした特産物の掘り起こしに努め独自性のある日向でしか購入できないような商品づくりに取り組みます。 オートキャンプ場については、コロナ禍でソロキャンプ・家族キャンプが全国的に人気になっているので、それに特化した魅力ある商品サービスを他のキャンプ施設を参考にしながら作り上げて行きたいと考えております。 体育施設については、感染状況が改善すれば学生の部活動や社会人の利用も活発になって来るので、予約状況が一目で確認できるようなシステム作りを考えて参りたいと思います。 令和3年度中には大型遊具、幼児用遊具、ドッグランが完成し人の流れもサンパークに来ると思われ。その流れを逃がさないよう企画立案に努めてまいりたいと思います。 今後は従業員数も3施設で16人程になりますので情報共有をしっかりと行い全員で会社を支えていく組織にし従業員のレベルアップ、待遇改善に繋がるよう経営努力に努めて参ります。</p>																																																																																													
<p>その他 特記事項</p>	<p></p>																																																																																													